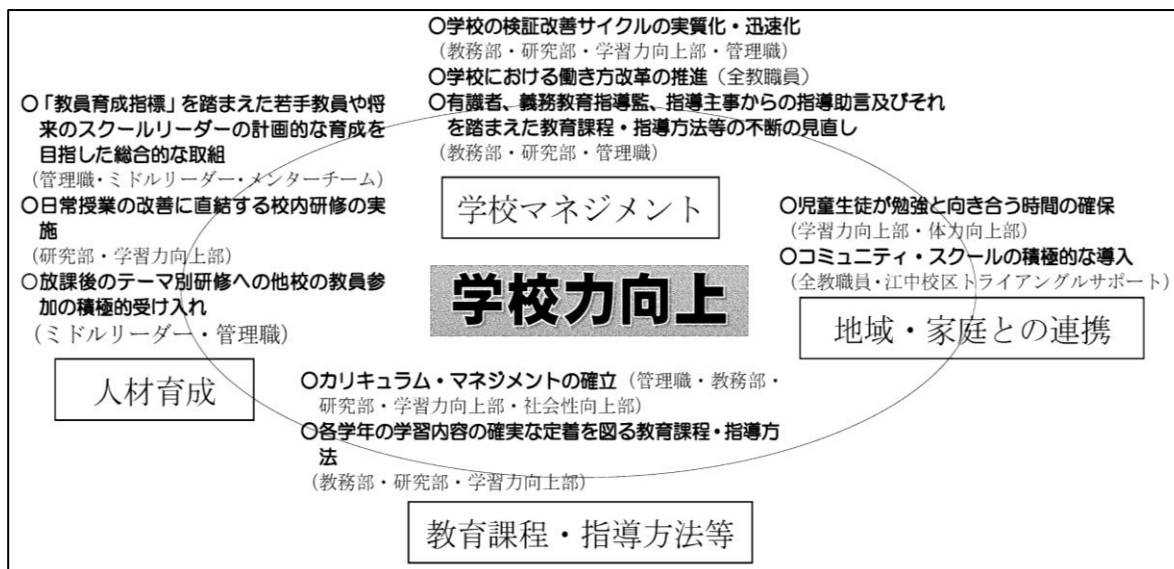


令和元年度『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その１０

北海道教育委員会の「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受け、子どもたちの学力・体力・生活力などに関する包括的な取組を行っています。

下図がチーム南小の取組概要です。



今号は、「人材育成」について紹介いたします。

南が丘小学校では、人材育成を目的に、「放課後のテーマ別研修への他校の教員参加の積極的な受け入れ」を行っており、年５回のテーマ別研修を計画的に実施しております。

回	期 日	テーマ別研修内容・講師
1	7月16日(火)	不登校にどう対応するか 江差北中学校 加藤 一義 教頭
2	8月26日(月)	地域素材の発掘～ふるさと学習～ 江差町教育委員会 宮原 浩 氏
3	10月 3日(木)	小学校外国語科の取組 (今回は荒天の為中止) 江差北小学校 渡邊 真理 教諭
4	11月22日(金)	フランチャイズチェーンのあり方 ～会社オーナーの考え方～ セブンイレブンオーナー 鈴木 玲一 氏 本部社員 梅本 健吾 氏
5	1月27日(月)	小学校かんたんプログラミング 南が丘小学校 押見 清一 教諭

各校の初任段階教員及び20代の若手教員が参加し、日常実践に直結する内容になっております。講師の先生は主に教育関係ですが、第4回は、「会社オーナーの考え方」をテーマにセブンイレブンオーナーの鈴木さんをお願いいたしました。社会人として・組織の一員としての在り方について、いつもとは違う視点からの研修会となりました。

第4回テーマ別研修 参加者アンケート

- ・個の質の高さがあるからこそ、セブンイレブンというブランドが成り立つことが分かった。学校も同じだと感じた。
- ・組織の一員として仕事をしなくてはならないことが分かった。
- ・制限がある中で仕事をするのは学校も同じで、その中で最高のパフォーマンス心掛けたいと思った。